

文学部A方式 I 日程・経営学部A方式 I 日程・人間環境学部A方式
GIS（グローバル教養学部）A方式

3 限 選 択 科 目 （60 分）

科 目	ページ	科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～24	日 本 史	26～41	世 界 史	42～56
地 理	58～67	数 学	68～73		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. **数学**については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

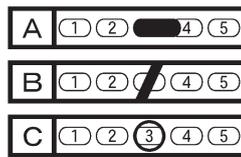
記入上の注意

1. 記入例 解答を**3**にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

I T技術の革新によって、私たちが接する情報の量と質は目まぐるしく変わり、日々の暮らしから経済活動や政治行動にいたるまで大きな影響を与え続けている。では過去の世界で、情報のあり方が社会を大きく揺るがした事例はなかったのだろうか。ヨーロッパの例で考えてみよう。

中世のヨーロッパにおいて知識は、修道士や写字生たちが高価な羊皮紙に書き記した写本の形で伝えられていた。⁽¹⁾この状況に大きな変化をもたらしたのが、活版印刷術である。中国から伝わった印刷技術は、15世紀半ばに鉛と錫の鑄造金属活字の考案によって改良を遂げ、⁽²⁾すでに伝わっていた製紙法と結びつくことで、従来の写本よりもはるかに迅速に、また安価に情報の伝達ができるようになった。その威力が遺憾なく発揮されたのが、宗教改革である。

宗教改革のきっかけとして知られるのは 大学の神学教授、マルティン＝ルターの贖宥状批判である。ときの教皇レオ10世は、 のサン＝ピエトロ大聖堂の改築資金を集めるために、善行の一つとして贖宥状の販売を許可していたのだが、ルターは「教皇の贖宥によって、人はすべての罪から解放され、救済されると説く贖宥説教者たちは間違っている」とこれを公然と批判した。この批判は、目の前の贖宥状問題にとどまらず、教皇の権威そのものへの挑戦をも⁽³⁾意味していた。⁽⁴⁾しかし、人口2,000人ほどの町に住むルターの主張が、どうして宗教改革の大きなうねりとなったのだろうか。幾つかの理由が考えられるが、彼の批判が活版印刷と木版画を組み合わせたパンフレットやビラによってまたたく間に人びとの間に広まることとなったことも理由の一つであろう。

から始まったこの動きに対して教皇はルターを破門に処し、神聖ローマ皇帝カール5世もまた⁽⁵⁾ に帝国議会を開いてルターを帝国追放処分とした。しかし、こうした措置は、ルターの活動とその影響拡大を止めることはできなかった。 選帝侯フリードリヒによりかくまわれたルターは、

『新約聖書』を一般の人びとがわかるドイツ語に翻訳した。そしてこの聖書もまた
 (6) 活版印刷によって多くの読者に届けられたのである。ルターにとって活版印刷は、
 教皇と戦い、自分の改革理念を伝える大きな武器であった。さらに、こうした動
 きは、従来の権威や制度を否定するさまざまな主張や運動を引き起こすことにな
 った。その一つが、ドイツ農民戦争である。当初、ルターは農民たちに同情的で
 あったが、彼らの主張が社会変革にまで及ぶと態度を変え、領邦諸侯の側に立つ
 ことになる。このプロセスを通して、領邦諸侯は信仰に関わる大きな権限を得る
 ことになる。1555年の和議は、その帰結といえる。

ヨーロッパ全域に目を転じてみると、印刷物は新しい主張を広域に伝え、新た
 な改革運動を引き起こす力となった。フランス語圏で大きな影響力をもったのは、
 人文主義者、ジャン＝カルヴァンの著作である。カルヴァンがラテン語で書き
 (9) え で刊行した『キリスト教綱要』は、フランス語に翻訳され多くの読者を
 得た。カルヴァン自身は、 お の地で宗教改革を実践するのであるが、教
 会組織の改革を含む彼の主張は、フランス、ネーデルラント、スコットランド、
 イングランドへと拡大し、各地の政治と社会に⁽¹⁰⁾変容を迫った。

カトリック教会の側も、改革派の広がりを黙って見ていたわけではない。1545
 年から か の地で公会議が始まり、さまざまな対応策が講じられた。その
 中に、禁書目録の作成があったが、それは氾濫する印刷物がカトリック教会にと
 って大きな脅威であり、その取り締まりが重要課題であったことを示している。

問1 下線部(1)に関連して、以下の文章の空欄 A に入る最も適切な語句
 を解答欄に記入せよ。

「ヨーロッパ中世において、長く学問の場は田園地帯にある修道院であつ
 たが、12世紀頃から都市に大学が生まれた。大学に置かれた専門学部は、神
 学、医学、 A の三学部であった。」

問2 下線部(2)に関連して、ヨーロッパにおいて金属活字を用いた活版印刷術を
 実用化する上で最大の功労者とされる人物の名前を解答欄に記入せよ。

世界史

問3 下線部(3)に関連して、1517年に発表されたルターによる批判文書の名前を解答欄に記入せよ。

問4 下線部(4)に関連して、ルター以前に教会批判を展開した人物にフスがいますが、フスを異端とした公会議が開催された地名を解答欄に記入せよ。

問5 下線部(5)に関連して、カール5世に関する記述として正しいものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 神聖ローマ皇帝に選ばれた際、彼のライバルはフランス王フランソワ1世であった。
- b 神聖ローマ皇帝に選ばれた後、彼はスペイン王国の王位をも獲得した。
- c 神聖ローマ皇帝となった彼は、同じく皇帝であった父の拡張政策を継承した。
- d 神聖ローマ皇帝として、彼はオスマン帝国の侵攻に抗してウィーンを守り、戦死した。

問6 下線部(6)に関連して、ルターの『新約聖書』のドイツ語訳に関する記述として正しくないものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ルターのドイツ語訳『新約聖書』は、近代ドイツ語の確立に貢献した。
- b ルターのドイツ語訳『新約聖書』の初版は、1522年に刊行された。
- c ルターはドイツ語訳『新約聖書』を刊行の後、『キリスト者の自由』を著した。
- d ルターのドイツ語訳『新約聖書』は、信仰の根拠を「聖書のみ」とする神学の普及に貢献した。

問7 下線部(7)に関連して、ドイツ農民戦争に関する記述として正しくないものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ドイツ農民戦争の中で、十二か条要求が作られた。
- b ドイツ農民戦争の中で、農奴制を否定する要求がなされた。
- c ドイツ農民戦争の指導者にミュンツァーがいる。
- d ドイツ農民戦争は、ドイツ北部の辺境地域で起こった。

問8 下線部(8)に関連して、この和議に関する記述として正しいものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a この和議によって、神聖ローマ帝国の宗教的一体性が維持された。
- b この和議は、アウクスブルクで開かれた帝国議会で結ばれた。
- c この和議は、シュマルカルデン戦争をひき起こす遠因となった。
- d この和議は、神聖ローマ帝国内のすべての人びとに信仰の自由をもたらした。

問9 下線部(9)に関連して、中世から近世にかけてのヨーロッパで活躍した著述家と作品名の組み合わせとして正しくないものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ペトラルカ - 『叙情詩集』
- b ボッカチオ - 『デカメロン』
- c トマス＝モア - 『ユートピア』
- d ラブレール - 『エッセー』

世界史

問10 下線部(10)に関連して、ネーデルラントに関する記述として正しくないものを以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a この地のカルヴァン派は、ハプスブルク家のフェリペ2世から厳しい弾圧を受けた。
- b カルヴァン派の広まった北部の州は、1581年にユトレヒト同盟を結び独立を目指した。
- c オラニエ公ウィレムを指導者とした北部7州は、ネーデルラント連邦共和国の樹立を宣言した。
- d ネーデルラント連邦共和国の独立は、ウェストファリア条約によって国際的に承認された。

問11 文中の空欄 ～ に入る最も適切な地名を、以下の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|------------|----------|----------|
| a ヴイッテンベルク | b ヴォルムス | c ケルン |
| d シュパイアー | e ジュネーヴ | f チューリヒ |
| g トリエント | h ナント | i ハレ |
| j バーゼル | k マインツ | l ミュンスター |
| m ラテラノ | n リューベック | o ローマ |

問12 文中の空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

帝の時代、藩王勢力がおこした三藩の乱の鎮圧を経て、清による中国全域の支配が確立される一方で、明の制度を踏襲しながら統治体制が整えられていった。海上貿易については、はじめは厳しい海禁政策がとられたが、しだいにゆるめられて、中国船が日本や東南アジアに出かけたり、東南アジアやヨーロッパの船が中国に來航したりと、民間交易も活発におこなわれるようになった。

乾隆帝の時代になると、海外との貿易を管理するため、ヨーロッパ船の來航を廣州一港に限定し、 という特許商人を通じてのみ貿易を認める厳重な制限が設けられた。この管理貿易体制は「カントン＝システム」と呼ばれて不評であったが、ヨーロッパ船の貿易量は増加の一途をたどり、中国からは生糸・茶・陶磁器などが輸出され、海外からはその代価である銀が中国に大量に流入した。

なかでもイギリスは中国への一方的な銀流出がつづいたため、19世紀には中国とインドとのあいだで三角貿易をおこなうようになった。その結果、中国へのインド産アヘンの流入が急増し、一方、中国からは代価である銀の流出が激増し、清は財政的にも社会的にも深刻な打撃を受けた。再三にわたりアヘン禁止令を発するも密貿易を増大させるだけで効果はほとんどあがらず、1839年、欽差大臣の林則徐が廣州に派遣され、徹底的な取り締まりがおこなわれた。これに対してイギリスは不当な貿易体制の打破を大義名分に掲げて遠征軍を派遣し、アヘン戦争へと発展した。

アヘン戦争敗北後、清は五港を開港し、 のみによる制限貿易も廃止した。しかし、イギリスは工業製品の対中輸出が思うように伸びないことから、さらに貿易港を増やし、内地でも自由な取引をおこなえるよう、清に要望する機会をうかがっていた。1856年にアロー号事件がおこると、イギリスはこれを口実に再び遠征軍を派遣し、さらにフランスも宣教師殺害事件を口実に参戦し、清と英仏軍との間で戦争が起きた。清は問題の解決をはかるため、1860年に九竜半島南部の割讓を含む 条約を結んだ。一方、東方進出を活発にしていたロシアは、清の苦境に乗じて1858年にアイグン条約を結んだ。

この頃、中国国内においても多難な状況がつづいた。三角貿易にともなう銀流

世界史

出は国内の銀価の高騰を招き、税額が銀によって定められていた のもとでは、実質的な増税となって農民を苦しめた。さらに度重なる自然災害や開港による経済条件の変化から、流民や失業者の数も増え、地方の治安は悪化していった。そのような社会情勢のなかで、農民らの支持を得た太平天国が急速に勢力を拡大し、全国的規模の大反乱へと発展した。10年以上にわたるこの動乱は、西洋式訓練をほどこされた常勝軍の活躍もあってようやく鎮圧されたが、常勝軍の活躍は漢人官僚たちを刺激し、洋務運動をすすめる契機ともなった。

また、対外関係もふたたび緊張しはじめ、従来の朝貢関係が変化を迫られるなかで、清は周辺諸国に有していた宗主権を次々と放棄した。とくに日清戦争敗北後の列強による中国分割や強引な中国進出は、民衆の外国文明に対する拒否反応をいっそう強めることとなり、各地における排外運動も激化していった。このような背景のもと、義和団事件が勃発した。 帝にかわって朝廷の実権を握っていた西太后や保守排外派はその勢いを見て義和団を支持するようになり、清朝は列強への宣戦布告をおこなったが、敗北を喫し、結果として外国によるさらなる干渉を招くことになった。

問1 下線部(1)について、三藩の乱を起こした藩王の一人である呉三桂が反乱の際に根拠地とした場所（現在の地名）として最も適切なものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 雲南 b 広東 c 浙江 d 福建

問2 下線部(2)について、清代の貿易に関する記述として間違っているものを、以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 清は遷界令により沿海住民を内地に強制移住させ、鄭氏などの反清勢力との貿易が行われなかったようにした。
- b 海禁政策の解除にともない、広州などの開港場に市舶司を設置し、民間貿易に対する徴税をおこなった。
- c 貿易をおこなう福建や広東の人々の一部は東南アジアに移住して経済力をのばし、のちの南洋華僑のもとの一つになった。
- d 貿易関係の改善を求めてイギリス人使節アマーストが来航したが、三跪九叩頭の礼を拒否し、皇帝との面会は許されなかった。

問3 下線部(3)について、乾隆帝の時代の出来事として最も適切なものを、以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 清とロシアの国境画定や通商などを規定したネルチンスク条約が結ばれた。
- b 郷勇や団練の活躍により、10年近く続いた白蓮教徒の乱を平定した。
- c 『四庫全書』の編纂を命ずる一方で、禁書により思想統制をすすめた。
- d 藩部の管理事務を担う機関として理藩院を設置した。

問4 下線部(4)について、アヘン戦争に敗北した清がイギリスと結んだ条約に関する記述として間違っているものを、以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 南京条約を結び、珠江の河口にある香港島の割譲を認めた。
- b 南京条約を結び、上海・寧波・福州・厦門・広州の五港を開港した。
- c 虎門寨追加条約を結び、開港場での土地租借や居住の権利などを認めた。
- d 虎門寨追加条約を結び、領事裁判権や租界の設立などを認めた。

世界史

問5 下線部(5)について、19世紀のロシアに関する記述として最も適切なものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ウスリー川以東をロシア領と定め、ウラジヴォストーク港を開いた。
- b イリ地方全体を併合してロシア領とする条約を清と結んだ。
- c ウズベク人のブハラ＝ハン国を併合してロシア領とした。
- d アルゲン川からスタノヴォイ山脈を清との国境に定める条約を結んだ。

問6 下線部(6)について、太平天国に関する記述として間違っているものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 太平天国は漢族の風習である纏足を禁止した。
- b 太平天国では大土地所有者を対象に天朝田畝制度が実施された。
- c 地方官僚や郷紳が組織した郷勇が太平天国鎮圧のために活躍した。
- d 太平天国はキリスト教的宗教結社である拝上帝会の洪秀全らが建てた。

問7 下線部(7)について、洋務運動に関する記述として間違っているものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 洋務派官僚のひとりである康有為は、軍隊の近代化、軍事工業の育成などに力を注いだ。
- b 洋務運動が展開された時期は内政・外交が小康状態を保ったため、「同治中興」と呼ばれる。
- c 兵器工場・紡績工場や汽船会社の設立など近代的工業の育成に努めたが、「中体西用」を掲げたため富国強兵の達成には限界があった。
- d 洋務派官僚のひとりである左宗棠は、福州に近代的な造船所を建設し、洋務運動を推進した。

問8 下線部(8)について、ベトナムの宗主権をめぐり清とフランスのあいだで戦争が起こり、その結果、両国間でフランスによるベトナム保護国化を認める条約が結ばれた。この条約の名称として最も適切なものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 黄埔条約
- b 北京条約
- c 天津条約
- d サイゴン条約

問9 下線部(9)について、義和団事件に関する記述として最も適切なものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 義和団は「反満興漢」を唱えて鉄道やキリスト教会を破壊した。
- b 義和団事件鎮圧後、清は出兵8カ国を含む11カ国と講和条約を結んだ。
- c 義和団は広西省金田村を根拠地とする白蓮教系の宗教結社であった。
- d 日本・ドイツ・オランダなど8カ国連合軍が出兵し北京を占領した。

問10 文中の空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問11 文中の空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問12 文中の空欄 に入る地名として最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問13 文中の空欄 に入る税制の名称として最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問14 文中の空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

世界史

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

1918年11月、第一次世界大戦の休戦協定が連合軍とドイツの間で成立した。翌年、参戦国の代表団がパリに集い、連合軍は敗戦国それぞれと講和条約を締結した。⁽¹⁾戦後は講和条約の内容を基礎にヨーロッパを中心とする新たな国際秩序が成立したが、同時に、アジア・太平洋地域でも国際協調システムの再編がはかられた。アメリカ合衆国大統領 の呼びかけでひらかれたワシントン会議では、日英同盟の解消と太平洋地域の現状維持を定めた 、中国に対する門戸開放や機会均等などの原則を確認した などが締結された。第一次世界大戦と第二次世界大戦の狭間を意味する戦間期は、こうして始まった。

戦間期のヨーロッパでは、大戦がもたらした災禍への反省をふまえ、平和主義が広がった。反戦を訴えた人々のなかには、戦争で肉親や友人、恋人を失った女性たちも多く含まれており、平和運動は社会主義やフェミニズムの潮流とも重なりつつ展開していった。外交面でも、1920年代半ば以降に国際関係の改善をめざす動きが強まった。⁽²⁾1923年にフランスとベルギーがドイツの工業地帯 を占領する事件がおこったが、その後はアメリカの金融支援にも後押しされてヨーロッパ経済は回復に向かう。政治と経済が好転したことで国際協調の気運が高まり、1925年にはロカルノ条約が締結されてヨーロッパの集団安全保障体制が成立した。⁽³⁾翌年にはドイツの国際連盟加入が承認され、1928年の不戦条約では国策⁽⁴⁾の遂行手段としての戦争放棄がうたわれた。

その一方で、第一次世界大戦の影は、終戦後も長きにわたりヨーロッパを覆い続けた。イタリアは戦勝国だったが、講和条約で期待していた成果を得ることができず、不満を抱えていた。国内では、戦争で疲弊した労働者や農民を中心にストライキやデモが頻発し、議会では社会党やカトリック政党の人民党が勢いを増した。こうした情勢に対応すべく、支配者層は労働運動や社会主義左翼を暴力で破壊するファシストたちとの連携を模索しはじめる。1921年に の指導下で結成されたファシスト党は急速に勢力を伸ばし、翌年のローマ進軍を経て、政権を握った。1926年には一党独裁体制を確立し、一連の外交政策を通じて国益⁽⁵⁾の拡大をはかっていく。

東ヨーロッパでも不安定な情勢が続いた。オーストリア＝ハンガリーが倒れ、「民族自決」の原則に基づき多くの新国家が誕生したが、多民族が混住する東欧で民族を基礎とする国民国家を建設するのは容易ではなかった。チェコスロヴァキアの領土とされた **エ** 地方にはドイツ系住民が多く住んでいたし、ルーマニアなどにも多数のハンガリー系住民が取り残された。独立を回復したポーランドは、ソヴィエト＝ロシアとの戦争を経て現在の **オ** の一部を⁽⁶⁾獲得したが、人口の約3分の1は少数民族が占めていた。不安定な情勢が続くなかで、ファシズムの影響もあり、東欧諸国では一部を除き権威主義的な体制がたてられていった。

1929年10月のニューヨークでの株価暴落をきっかけにはじまった世界恐慌は、資本主義諸国に大きな影響を与え、国際体制は動揺した。危機に直面した諸国はさまざまな対応をとったが、一部の国ではファシズムが台頭した。ドイツではナチスが党勢を拡大し、ヒトラーのもとで一党独裁体制が確立した。ドイツは1933年に国際連盟から脱退し、35年には再軍備宣言を行い、対外拡張政策を推進していく。38年3月には **カ** を併合し、次いで、 **エ** 地方の割譲をチェコスロヴァキアに要求した。チェコスロヴァキアはこれを拒絶したが、38年9月に英仏首脳、ヒトラー、 **B** が出席したミュンヘン会談で、ドイツの要求⁽⁷⁾が認められた。イギリスなどは、外交的譲歩を重ねることで戦争回避を目指す **C** 政策を追求し、当時の国内世論もそのような方針を支持したが、それが中小国の利害を犠牲にしたものであったことは論をまたない。

ファシズムの台頭は、それに対抗する運動も生み出した。1930年代には、ファシズムを共通の敵とみなして民主主義の擁護を掲げる人民戦線が各地で誕生した。フランスでは1936年にブルムを首班とする内閣が成立し、大規模な公共事業が実施された。スペインでも同年に社会党や共産党が協力して人民戦線政府が生まれたが、軍の一部と右派勢力がクーデタをおこし、スペイン内戦へと発展した。内戦の勝者となったのは **キ** で蜂起した⁽⁸⁾軍を率いたフランコであり、その後、独裁体制を樹立した。1939年9月、ドイツがポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が始まった。

世界史

問1 文中の空欄 **ア** ～ **キ** に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|-------------|----------|
| a 九カ国条約 | b 再保障条約 | c 四カ国条約 |
| d ラパロ条約 | e ウクライナ | f オーストリア |
| g オランダ | h ザール | i シュレジエン |
| j ズデーテン | k チュニジア | l ベルギー |
| m モロッコ | n リヒテンシュタイン | |
| o ルール | | |

問2 下線部(1)に関連して、以下の a～d のなかで、第一次世界大戦の敗戦国とその国が結んだ講和条約の名称の組み合わせとして、誤っているものはいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|----------|---|------------|
| a ドイツ | － | ヴェルサイユ条約 |
| b オーストリア | － | サン＝ジェルマン条約 |
| c ブルガリア | － | ヌイイ条約 |
| d オスマン帝国 | － | トリアノン条約 |

問3 下線部(2)に関連して、1920年代のイギリスとアイルランドに関する記述として誤っているものを以下の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ロイド＝ジョージ内閣のもとで、第4回選挙法改正が実現した。
- b ボールドウィン内閣のもとで、第5回選挙法改正が実現した。
- c 自由党が労働党に協力することで、第1次マクドナルド内閣が成立した。
- d アイルランド自由国が成立した。

問4 下線部(3)に関連して、以下のa～dのなかで、正しいものはいくつあるか。

その数を解答欄にマークせよ。

- a ドイツ西部国境の現状維持と不可侵が決められた。
- b ラインラントの非武装化が定められた。
- c フランスは、チェコスロヴァキアおよびハンガリーと相互援助条約を結んだ。
- d 条約の成立に貢献したドイツのシュトレゼマン外相に対して、1926年にノーベル平和賞がおくられた。

問5 下線部(4)の成立に貢献したフランスの外相とアメリカ合衆国の国務長官の組み合わせとして正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ブリアン - ケロッグ
- b シューマン - ハル
- c ブリアン - ハル
- d シューマン - ケロッグ

問6 下線部(5)に関連して、1920年代のイタリアの外交政策に関する記述として誤っているものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国と協定を結び、フィウメを併合した。
- b ティラナ条約により、アルバニアを保護国化した。
- c 教皇庁とラテラン条約を締結し、ヴァチカン市国を承認した。
- d エチオピアに侵攻し、これを併合した。

問7 下線部(6)に関連して、1926年にクーデタをおこして政権を握ったポーランドの指導者の名前を解答欄に記入せよ。

世界史

問8 下線部(7)に関連して、ミュンヘン会談に出席したフランス首相の名前を解答欄に記入せよ。

問9 下線部(8)に関連して、以下のa～dのなかで、誤っているものはいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- a 軍部は、アサーニャを首班とする人民戦線内閣の打倒を企てた。
- b ドイツとイタリアはフランコ陣営に軍事支援をおこなった。
- c アメリカ人作家のヘミングウェイが国際義勇兵に参加した。
- d 内戦中におこったドイツ軍を中心とする空爆に抗議して、ピカソが「ゲルニカ」を描いた。

問10 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。ただし、 は漢字で記すこと。

(白 紙)